

2023 明治安田生命 J3 リーグ 第 24 節 vs. ガイナレ鳥取

8/26 (土) 19:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



2023 J3 順位表 第23節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	愛媛	44p	+6	34	28	A●	H△
2	富山	40p	+8	36	28	HO	
3	沼津	39p	+11	34	23	A△	
4	岐阜	34p	+8	28	20	---	---
5	鹿児島	34p	+5	33	28	HO	
6	今治	33p	+7	33	26	H△	AO
7	鳥取	33p	+3	35	32	AO	
8	FC大阪	33p	+3	21	18	H●	
9	奈良	32p	+9	28	19	A●	
10	松本	32p	+7	37	30	H△	
11	八戸	31p	+1	27	26	A●	
12	宮崎	31p	-6	21	27	A●	
13	岩手	30p	+4	28	24	H△	
14	長野	29p	-9	30	39	H△	AO
15	琉球	28p	-11	26	37	HO	
16	讃岐	28p	-13	15	28	AO	
17	YS横浜	27p	-5	30	35	H●	A●
18	福島	27p	-8	19	27	AO	
19	相模原	20p	-10	22	32	HO	
20	北九州	19p	-10	19	29	A△	

次回HomeGame

第26節 vs. テゲバジャー口宮崎

9/9 (土) 18:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

今日もここから
串かつで一杯

煮込み珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00
※売り切れ次第、終了です
火、水、金、土 (祝日除く) 営業
TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10分

★

アミカ

ドミ
イン

JR
岐阜駅

today's guest : ガイナレ鳥取

2022 J3 12勝 5分17敗 勝ち点41:12位

直近の対決と結果

2023/06/04
J3-12節 @ A x i s

鳥取 1-2 岐阜
ンドカチャールス, 田中順也
scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		ガイナレ鳥取	
2023/08/19 J3-23節@長野U 長野 1-5 岐阜		2023/08/19 J3-22節@@ A x i s 鳥取 2-0 宮崎	
2023/08/12 J3-22節@里山S 今治 1-2 岐阜		2023/08/13 J3-22節@ニスタ 愛媛 3-2 鳥取	
2023/08/05 J3-21節@長良川 岐阜 0-0 愛媛		2023/08/05 J3-21節@ A x i s 鳥取 2-1 松本	

●7月は未勝利に終わり、再び調子を落としたFC岐阜。8/5(土)第21節・ホーム戦は、首位・愛媛を相手に、我慢の時間帯が続く試合に。後半になると若干は岐阜にもチャンスが生まれるが、決めることができない。倍以上のシュートを撃たれ、長い間、我慢し続けた試合は0-0、勝点1を分け合う結果となった。続く8/12(土)第22節・アウェイ今治戦は、#45ンドカ・チャールスの2ゴールで岐阜が試合を優位に運ぶ。後半は攻勢を掛ける今治に対して守勢になる岐阜だったが、GK #1茂木秀がPKを止めるなど、ゴール前に立ちはだかつて得点を許さない。それでも1点を返されてしまった岐阜だったが、粘り強い守備で同点は許さず、2-1。7試合ぶりの勝利を掴み獲った。そしてアウェイ連戦となった8/19(土)第23節は、長野を相手に#11藤岡浩介が待望のゴールで先制点を挙げる。すぐに追いつかれてしまうが、その直後にFKの混戦で#39遠藤元一が押し込み、再びリードして前半を折り返す。後半は岐阜の修正が効いたのか、攻撃陣が爆発。#7村田透馬、#11藤岡浩介、#9山内寛史がゴールを奪い、そして後半は無失点に抑えた岐阜。5-1と完勝して、アウェイ連戦を2連勝で飾ることができた。

さて、この3試合で勝点7を積み上げたFC岐阜。得失点差の優位も影響して、順位は4位とジャンプアップし、首位・愛媛との勝点差は10、2位・富山との勝点差は6と、わずかではあるが、その差を縮めることができた。ただし、逆に『3試合2勝1分でも、首位とは勝点2しか縮められなかった』と言うこともできる。ここからの上位での順位争い(J3優勝争い)は、勝ち続けるチームだけが生き残れる、本当に厳しいものになるだろう。そして、現在の岐阜は4位だが、勝点差7に18位・琉球までが入っているという大混戦の状況は、ほぼ変わっていない。つまり、少しでも調子を落とせば、あっという間に下位に転落する状況も続いている。やはり当たり前のことではあるが、目の前の1試合を、常に全力で戦って勝ち続けることを目標にして、やり続けるしかない。それが達成できた時には、素晴らしい結果が必ずとついてくるだろう。それを信じて、今節この一戦も、勝利を目指して最後まで全力で戦うことが求められる。

さて、今節の対戦相手はガイナレ鳥取だ。昨季は12位に終わり、今季は金鍾成監督3年目体制で望んだが、主力選手の移籍が影響したのか、徐々に順位が下降。第14節で18位になったのを機に金監督は解任され、増本浩平HCが暫定監督として指揮を執ることになった。すると、今度は徐々に順位を上げてゆき、現在は7位。そして直近5試合で見ると、3勝1分1敗(なお、負けたのは首位・愛媛)で、勢いのあるチームと言うことができるだろう。岐阜と鳥取の勝点差はわずか1。“6ポイントマッチ”に燃える鳥取だが、このチームを倒さなければ、岐阜もここから上には進めない。

鳥取との(J3での)通算対戦成績は、岐阜の4勝3敗・9得点12失点。今季前半戦の対戦・6/4(日)第12節アウェイ戦では、#45ンドカ、#18田中順也がゴールを奪い、最後は守り切って2-1で勝利し、4連勝を達成した。今節も厳しい試合が予想されるが、このホーム戦では是非とも3連勝を達成して欲しい。

鳥取で最も警戒すべき選手には、現在7得点の#32牛之濱拓を挙げる。直近5試合では1得点だが、決定機には絡んでくる選手だ。そして、直近5試合で3得点の#18富樫佑太は、昨季まで4年間岐阜に在籍した選手だ。その“凱旋”は岐阜サポーターにとっても喜ばしいことだが、今節だけは封じなくてはならない。また、ベテランFWの#19重松健太郎は前節2ゴール、こちらも要注意選手だ。一方の岐阜では、やはり昨季まで2年間鳥取に在籍した#48田口裕也に注目したい。また、今季の鳥取は岐阜とは対照的に、得点も失点も多いチームだ。先述したように攻撃陣にタレントが揃っており、これを岐阜の守備陣が最後まで自由にさせないことが、勝利の鍵となるだろう。

今年も猛暑が続いている岐阜の夏。今節も、選手たちも僕らも心身共に厳しい試合になるだろうが、しかし、僕らはホームで勝つFC岐阜を見たいのだ。そのために、最後まで走り続ける岐阜の選手たちを信じて、勝利のために戦い続ける姿を信じて、最後まで背中を後押しする応援を続けよう。きっと、試合終了の笛が響いた後に、2か月ぶりの“HYPER CHANT”を、長良川の夜空に響き渡らせることができるはずだ。(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第21節】岐阜 0-0 愛媛

●うーん、またしても……じれったいというか歯がゆいというか、モヤモヤするというか。ドローとはいえ残念ながら現状のチームの成熟度、完成度に差があるのは認めざるを得ない内容だったかと。石丸さんいいチーム仕込んでるなあ。で、愛媛で目立ったのはベン・ダンカン。自分で打て、尚且つ楔にもなって味方のチャンスを演出する実に9番らしいプレーぶり。ただ、ここまでの記録が示すように90分は保たない選手のように、彼が退いた後は愛媛もチームとして脚が落ちてきて、段々雑なサッカーになってきてた感がある。あと前半の枠内シュート何本かを茂木秀の好セーブが救ってくれた。

岐阜はある程度のところまで攻め込むことができて、最後の部分でパスミスだったり連携ミスだったり散見されていた印象。あとボールを持った時に、前を向けず(仕掛けられず)バックパスを選択してしまうようなケースも多かったなあ。それで中盤から後ろでボールを回している時に中途半端なボールを掻く攫われてシュートカウンターで攻め込まれたり(前半の愛媛は特にそういう狙いで来ていた)。

好調だった6月とは対照的に、7月は一転して勝ち星なし。チームが成長していく過程なのだとは思っているけれど。選手の起用の仕方と思うところはあったりはするが、それは言っても詮無きこと、とにかく今は耐える時か。でもなにかきっかけというか起爆剤が欲しいところではある。

(岐阜の誇り)

●7月末勝利のFC岐阜。しかも後半戦の初戦でYS横浜に負けてしまい、次は首位の愛媛。追いつくためには勝たなければいけない試合だけど……で、悪い予想は残念ながら当たるもので、心臓に良くない試合でした(溜息)。

試合は序盤から愛媛のペース。特に、#9ベン・ダンカンの動きとフィジカルが良くて、ボールが収まって、攻撃の起点になって後ろから押し上げて……と、まさに1トップに相応しいプレー。一方の岐阜は、これまでよりは素早いパスを縦に出そうとしているのは良いんだけど、サイドを突破しようとしても“単騎駆け”で後ろがついて来ない(来られない?)ので、やっぱり複数でチェックされて、ボールを奪われる。決定的とまではいなくても、良い形でシュートを撃たれるけれど、GK #1茂木秀のファインセーブで失点は防ぎ岐阜。

やっぱり、シーズン後半戦で首位にいるチームは強いなあ……と思ってたら、後半になって#9ベン・ダンカンが下がってからは、ほんの少しだけ、岐阜にもチャンスの芽みたいのが出来るんだけど、決定機までには作れない。相手の攻撃そしてシュートにドキドキしっぱなし(苦笑)。何とか耐えきって、守り切って、首位・愛媛相手にスコアレスドロー。勝ちたかったけれど、負けなくて良かった。そんな試合内容だったと思う。ところで、やっぱり#42 柏木陽介のFW起用は無謀じゃないですかね……特にFWが強度の高いプレスを掛ける必要のあるチーム戦術では、#42 柏木のプレーが生かせないのでは?と思う。ボランチぐらいの位置で縦に精度の高いパスを出す役目の方が向いているような……走り回ったのと怪我したのかな?前半で交代しちゃったし。それと、後半に出てきてイエロー2枚で退場しちゃった#19 松本歩夢は猛反省してください。退場は今季2回目ですよ?闘志溢れる思い切りの良いプレーは素晴らしいけれど、そのプレー中の悪い癖を直さないと、これからはベンチにも入れて貰えなくなるから。とりあえず2試合いない分は、他の選手の奮起に期待します。

(ささたく)

●アツイ……。暑すぎる。岐大通を配り終えた編集長を見て、ただ、ただ、お疲れ様でした、と。そりゃ、そうなるワ。ウチの順位は11位に。端的に申し上げて『順位に見合った内容』だったと言わざるを得ない、かな?かたや、愛媛サンは「さすがは首位。」という内容……に見えた。納得というか、腑に落ちるといふか。ウチの攻撃は、同じような時間帯に試合が

あった世界のベスト8・なでしこジャパンとの差も明白だったような気がするよ。

勝ち点1を積み重ねたのは悪くないけど、「シュンペーがウチにいた時と変わってなくて助かった〜。」という感じ……。あ、こんな物言いは、J3の7月度月間MVPに対して失礼でしたね。得点こそ決められなかったものの、他の選手とのリンクで決定機を作り出したもんね。ウチはFW同士の連携なんて、ほぼ皆無、だからねえ。あー、TJがユウヤに出したヤツがあったか。まだまだ、発展途上。コチラは今までやってきた辛抱を、これからも継続して応援するしかないけどね。

次節からはアウェイが続く。苦しいとは思うけど、この試合の勝ち点1を活かすためにもガンバってほしい。

(ぐん、)

●前回のホーム長野戦と違って、こちらは「やれやれ」が出てこない、納得のドロー。だって、前半の内容から考えたら勝てそうな気配なかったもん。「いまの俺はなあ、勝てる気がしねえっ!」ってなもんだ(苦笑)。

とにかくこの日もFW柏木。実際は4-2-3-1の3の真ん中なんだろうけど、「攻撃のコンダクター」をそこに置くなら、彼にコンダクト(指揮)される、攻撃で使われる選手が周囲にいないといけな。快速ウイングで生きるリョウ君はサイドに活路を見だしているのだから、ボランチの庄司や北くん、この日は右に入ったトモヤがチャーリーと一緒に柏木の周囲で動いて敵を崩す動きをしないと、結局は柏木が敵陣近くでボールを保持するだけになってしまう。その点、愛媛はダンカンの使い方に長けていた。彼が90分走れるフィジカル持ちだったら、岐阜は後半に粉碎されていた可能性が高い。

後半アタマから柏木→藤岡。だわなあ(苦笑)。とはいえ、チャーリーと藤岡の間に『コンビ』という概念がないのは開幕からずっと観てるのでわかってるし、チャーリー→田口の交代でようやく前線がスッキリして、愛媛も脚が動かなくなって互角な内容になった。でも、後半途中から投入のアユがまたしても警告2枚で退場。2回目の退場だから、今治戦と長野戦のWアウェーが出場停止のはず。前回の退場の時にも書いたけど、アユは『警告』って『退場』の中間点だと思ってるんじゃないかなあ。『警告』って、「次に似たことやったら『退場』だよ」という、文字通りの『警告』なの。これを知らないでプロ選手になれるってのも結構強い眩暈がするんだけど、ホントに黄檗山萬福寺(注:警告点の多い競輪選手が精神修行に『入らされる』禅寺)に数日入ってカラダに染みつかせてほしいよ。

リョウ君がここんところ左に配置されている件は、もう諦めた(苦笑)。どうしたって右サイドの方が生きそうだし本人も得意そうなんだけど、「監督は逆脚(右脚で蹴るのが得意な選手を左サイドに置く)がお好き」……なんて、いにしえのコメディ映画のタイトルみたいじゃないか(苦笑)。

結局、6,000人を超える観客に「いまのFC岐阜は『運が良けりゃ勝てる』に過ぎないチームです」と伝える試合となった。ういーざりとびつ、ういーざりとびつ。『マイ・フェア・レディ』の「With a little bit of luck(運が良けりゃ)」を陽気に歌いながら(メロディを聴いたことある方も多いと思います)長良川からの帰路に就く。いいんじゃないの?目の前の試合に一喜一憂、気楽に行きましょうよ。でも降格だけにはご用心。(吉田鑄造)

【第22節】今治 1-2 岐阜

●いやあ、毎回この時期に思うことなんですが、『夏の移籍』って、ホントに怖ろしいですよ。その中でも、主力攻撃陣2選手をカテゴリ上のチームに持ってかれたと思ったら、有望な若手やらベテランを3名を獲得、しかも4位だったのに監督を解任(退任?)してる今治さんは、かなりのレベルだなーと(苦笑)。1か月前なんだけど、前半戦と全く別物のチームになってるんじゃないのかな?という予想をしてました。

……なんですが、ウチの方が、かなり別物のチームでした。いや良い意味なんですが(苦笑)。前半12分、#11 藤岡浩介がPA外から強烈なミドルを撃つと、弾かれたボールに#45 ソドカが詰めて先制点! 詰めてた#45 チャーも素晴らしかったけれど、#11 藤岡には0.7点ほど差し上げたい(笑)。そして前半39分には、今度は#7 村田透馬が、#45 チャーに絶妙なスルーパス。これをしっかり決めて2点目! おいおい、攻撃陣の連携と決定力不足が問題だったんじゃないの?(苦笑) 考えてみると、#8 窪田を右に戻したなーとは思ってたんですが、それよりも、後ろでボールを回すのではなく、シンプルに縦を狙うカウンター攻撃をメインにした分、足の速い選手が多いウチの特徴が活きたと思います。それと、これまではサイドに張ってたことの多い#8 窪田と#7 透馬が、中央に絞ってる場面も多かったようにも思う。これで中央突破に掛ける人数が増えることで、相手に中央を守らせておいて、今度はサイド攻撃……と、攻撃の選択肢が増えたのが大きいかなと思います、はい。

ただし、後半は修正した今治のターン。GK #1 茂木秀がPK ストップをはじめとするビッグセーブを連発しなけりゃ、逆転されてたかも……と思ってしまうぐらい。1点を(夏の移籍で獲得した今治の若手選手に)返されてしまったけれど、本当に守備陣は粘り強く守ってたと思う。お疲れ様でした。ただし、#48 田口裕也……。後半ATに相手GKと1対1になって、よし、これでトドメ刺して快勝! って思ったやん? 利き足じゃない左足だったけど、あそこでフカしたら全員ズツこけるやん? こないだもフカして負けて泣いてたやん? 猛反省して、居残りシュート練習してください(苦笑)。

最後まで肝を冷やしたけれど、7試合ぶりの勝利。選手たちや岐阜のサポーターたちの笑顔も最高だ。……なんですが、この里山スタジアムって、出来たばかりなのに照明ちょっと暗すぎないですか? よく見えないんですけど、まさか『里山の雰囲気を出すため』とかじゃないですよ?

(ささたく)

●ねぐらに戻って、情報遮断に成功したイマジ戦(笑)をDAZNの見逃し配信で見たら、ボクと同じくらい決定力不足なヒトいたよ。そういうトコを決めてこそ、だぞ? >ユウヤ。前半の、またまた発動したポスト直撃もそうだけど、3点目が決まったら、もっと楽な展開になってたはず。まあ、そういうのが出来ないからこの順位、なんだよね。とにかく、練習して、試合でもっと、もっと、シュートを撃とう。それから、なんといってもモギシュー。アナタに最敬礼だよ。

失点の場面は、タテに付けようとしたパスをミスったのが原因。ただ、その後の混乱ぶりはなんなの? アチラにやりたいようにやられての失点。ホント、ヤバかったね。そりゃ、終了の笛と共に倒れ込むヒト多数、だわ。まあ、この暑さだからしょうがないよね。現地どころか、リアル観戦もしてないヤツに言われたくなくろ。

あと、前節の「勝てなかったけど負けなかった。」コトがコレで活きたような感じ。若干だけど。次の長野戦次第だな。しかし、アチラの10番、だっけ? 厄介な選手だねえ。ウチもああいう助っ人欲しい。レオミ以来、姿を見なくなって久しい気がするよ。それでも、今はこのメンバーでやるしかない。やり切ってほしい。

(ぐん)

●7試合ぶりの勝利っ! ばんざーあーいっ! さあここから反撃だっ! ……って気分には、なんかなれないです。ごめんなさい。いや、よく勝ったと思います。もちろん完勝でも快勝でもないし、かといって辛勝でもない。必死になって勝利を欲して、勝利を求めて、そして掴んだ勝ち点3。評価されこそすれ、批判も否定もされるべきじゃないし、ぼくもする気はない。でも、それと「今後に向けて霧は晴れたっ!」となるかは別の問題だ。

まず、柏木が不在(ベンチにもいない)。リョウ君を右に戻した。これで、ボールの流れ、選手の動きがとてもスッキリしたように見えた。スッキリしたもんで選手も動きやすくなって、それで後半に動きが落ちてベタベタに攻められた。のかな。上野監督が柏木スタメンFW起用でやりたかった(のかな? と思う)前線でボールが収まるサッカーではない、バタバタした落ち着かないサッカー。でも、今季の岐阜の選手構成ってそっちのほう合ってるのかもしれない。

でも、ぼくが「霧は晴れない」と思うのは、長野戦でどうなるか、あるいは次のホーム戦でどうなるか、わからないから。アユの出場停止でサイドでトーマの先発が確実視されて、そうするとトーマが左のリョウ君が右でFIXされたのかもしれない。柏木だってまたFWで使ってしまうかもしれない。あと、これはどうしても書かせて。アウエー奈良戦で決定機と超決定機を続けてはずして、その後で相手エースにゴール決められて敗れた時、泣いた選手がいたよね。あの涙の味はもう忘れちゃったのかな。そのうちに「あー、はいはい、知ってた」って思われちゃうぞっ。

(吉田鑄造)

【第23節】長野1-5 岐阜

●7試合ぶりにアウェイ今治で勝利を挙げたF C岐阜。アウェイ長野で連勝だ！と乗り込んだ岐阜サポの皆さん、雷雨の影響で90分遅れて開始された試合、大変お疲れ様でした。まあ、試合中止になるよりはマシとも言えますし、何よりも、この試合を現地で見たら、疲れは吹き飛ばすと思いますが……（笑）試合の序盤は両チームともに差し合いの展開で、けれど両チームともゴールは生まれません。すると飲水タイム明けのFK、#1茂木秀のロングフィードを#45ンドカが頭で逸らして、縦に走り込んだ#11藤岡浩介が、直接アウトサイドボレーの先制点！いやー、待ったよプリンス！今季は新しいポジションに苦労してるけど、ここから得点も量産して欲しいよね……と思ってる、ここで三田尚希ですよ……（溜息）。1か月前のホーム戦でも、彼に最後でゴールを決められて勝利を逃がしたんだよね……って思ってる、その直後に追加点ですよ！しかも、FKつまりセットプレーからの得点ですよ！？（苦笑）僕的には『クララが立った！』状態ですよ？（←古い）おいおい、やれば出来るんじゃないか……と思った僕の気持ちは、後半に入ると更に複雑なことになりました（苦笑）。#7村田透馬の3点目は、前節でも見せた#11藤岡からのスルーパスなんだけど、またオシャレな感じにループさせちゃって。んで、CKでこぼれたボールを#3宇賀神がミドル→GKが弾いたボールを#11藤岡が叩き込んで2点目……このあたりで、岐阜の選手には余裕が、長野の選手には戦意の低下が見られましたね。そして圧巻だったのは、トドメの5点目。#7透馬がボールを（しかも中央で）運びながら、#48田口裕也に左に走るよう指示をして。その動きに釣られたDFの逆を突いて、右を走って#9山内寛史にオシャレなプレゼントボール、それを#9山内がダイレクトで叩き込んで……って、そんなオシャレに連携したゴール、できるんやったら最初からやってよね！（苦笑）まことしやかな噂では、夏の第2ウインドーが閉まるまでは、活躍しすぎるとカテゴリ上のチームに引き抜かれちゃうから、わざと封印してたとかいう説があるとか無いとか……（笑）。

この2連勝で、選手たちも（そして上野監督も）自分たちのカウンター戦術に自信が持てたことだろう。順位も今季初の4位。ただ、ここから上位までは勝点が少し離れてるし、上位陣に追いつくには時間が掛かる。ひとつずつ、勝つしかない。そして何よりも、2か月以上もホームで勝てていない。だから今節は、この勢いのまま、必ずや勝利を！よろしくお祈りします！（ささたく）

●DAZN点けたら「キックオフは19:03」って出て、アレ？時間を間違えて覚えてたか？と思ったよ（笑）で、さらに時間が延びて、白波スタとか思い出して、「もしかして、再試合？南長野に行けるかも？」って考えが脳裏を過ぎてしまいました。現地組の皆さん、ごめんなさい！それにしても、相変わらずのウチのゴール裏隊は空いた時間の使い方を心得てるねえ。若い子達もみんなノってる。嬉しいよ。でも、やっぱ、アレだよ。何でも見返しちゃうよね。ハイライトとか。なんてたって、5-1だもんねえ。振り返れば、長野との試合はだいたい引き分け（苦笑）前回の長良川でも、あとちょっと……のところで決められちゃったし。三田に。この試合も、ようやく、プリンス、キターって快哉叫んだ直後に、また、三田。オイ、コラ、ウチに恨みでもあるんか？お？……、いや、まあ、そういうレベル、嗅覚を持つ選手ですからね。掛け値なしにイイ選手ですよ。それから、先取点はアシストがチャーリーですよ？今、何が起こったんだ！？と映像を見てても目を疑ったよ。何せ、今季の得点とかで、なかなか見られなかったFW同士の連携ですからね。TJが出てユウヤが決めた相模原戦とか、まるっきりなかったワケじゃないんだけどね。この2トップ、プリンスとチャーリーが……ってのがキモなんですよ。まあ、競って、

アタマに当たったら、落ちたトコロがこの上なくイイ位置だった、ってだけなんだけど。でも、ソレが大事！そういうのの積み重ね、なんじゃないかな？プリンスは2得点2アシスト。ココから、ズドンと爆烈のゴール量産をお願いします！セット・プレーからの得点も喜ばしい限り。蹴ったのがオイちゃんというのが、またイイ。元チャン、移籍初ゴール、おめでとう！プリンスの超絶スルー（開幕戦の庄司と並ぶスルーパスじゃなかるうか？）からのトーマのおしゃれループ。ヒロフミの、まさにダメ押し、スーパー・クールな流し込み。今季はコレで打ち止め、とか言うなよ？と心配になるくらいのゴール・ラッシュ。最にして高！

今度は長良川。鳥取はカンタンな相手じゃないけど、是非とも勝ちたい。今度こそ、現地で応援します。（ぐん、）

●5得点ですか。リーグ戦では自己最多タイの4回め。過去3回は2008/3/20のアウェー山形戦(5-3。和正x2,片山x2,菅)、2008/4/12のアウェー福岡戦(5-1。片桐x2,和正,梅田x2)、2009/9/2のアウェー熊本戦(5-2。嶋田,冨成,西川,洗一x2)。うーむ、今回も含めて全部アウェーなんだね……（苦笑）。4点差勝利は2年前のホーム讃岐戦（三ツ田,川西x2,トーマ）以来だ。

ずいぶん荒稼ぎをしたけど、考えてみると長野はつい先日長良川で対戦した時(1-1のドロー)も、その直近3試合で10失点の惨状だった。それを仕留められなかった原因の一つに「FWスタメン柏木」があった……というのは、ぼくは譲りたくないところで。

一方、このアウェー長野戦では柏木はサブ。おかげで今治戦に続いて岐阜の前線はスッキリ。とにかく、選手が「やりやすそう」。GW茂木のロングフィードにチャーリーが頭ですませたところに走り込んでたコースケのゴール（でも、この時にコースケがチャーリーとあまり喜びを共有してなかったように見えた。そういうことなのかな）。オイちゃんの正確なFKをリョウ君が中に入れて遠藤の移籍後初ゴール。コースケからのスルーパスにトーマのループ。宇賀神のコントロール・シュートのこぼれをコースケがゲットしてドゥピエッタ。最後はトーマのパスにヤマヒロがこれもJ初ゴール。個人的にはこの5点目が一番好き。ユーヤがポストしてトーマが受け、彼の前にユーヤ、リョウ君、ヤマヒロがゴール目がけて走り出す。対する長野DFは3人。するとトーマが左腕をぐいと開いて、その瞬間にユーヤが大きく左の外へコースを変える。中を固めていた長野DFは横に薄くなり、さらにリョウ君が中に入ってくることでDF2枚を引っ張って、その外のヤマヒロが完全フリーでトーマのパスを受けた。あとはシュート・ミスをしなだけで。ユーヤ、見てたかい？（苦笑）

かくしてアウェー連勝で順位も4位に。とはいえ、箱根駅伝風について「長い直線で、2位を走る富山についている放送車が見えてきた」程度。時間差はまだ3分（距離で1km程度）もあるけど、前方の走者が見えてくるとスイッチが入るといいうランナーは多いようだし。

5点奪っておいでなんだけど、心配はある。今日の鳥取戦のスタメンだ。というのも、今治戦や長野戦で結果を出したサッカーって、もしかしたら上野監督がやりたいサッカーじゃないのでは……という気がするの。ビルドアップをしっかりとやるのはいいとしても、「攻撃ターンでも手をかけてしっかり崩すサッカー」が好きじゃないか、って。あるいは、外的要因でどうしてもホームでは柏木をスタメンにしないといけないクラブ事情（チーム事情じゃないよ）があったりとか……は、ないよね。ないよね。杞憂だったらいいな。鳥取戦のスタメンに注目です。

（吉田铸造）